



2019

7

July Vol.40

JALまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「出雲市 シャインマスクット」 出雲地区本部



八雲風穴 (出雲市 佐田町) Xaonachs





島根には誇れる農産品がたーっさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

出雲市 シャインマスカット

7月は、出雲地区本部。出雲市西園町で、シャインマスカットの生産に取り組む桑原陽子さんにお話を伺ってきました。

夫の夢が、私の夢に

桑原さんは隠岐郡西ノ島町の出身。平成27年に出雲市アグリビジネススクールのぶどうチャレンジ講座を受講しながら、認定農家の元で1年間の研修を受けつつ新規就農し、シャインマスカットの生産をはじめました。隠岐郡で就職した後、結婚を期に出雲市に移住。長年、主婦として家庭を支えてきましたが、子どもたちが高校3年生と中学3年生になり手が離れた頃、漠然と何か仕事をしなければならぬと考えていました。ちょうどその頃、会社員の夫が定年後に農業をやってみたいという夢を持ち始めた時期でした。まだ会社員として働

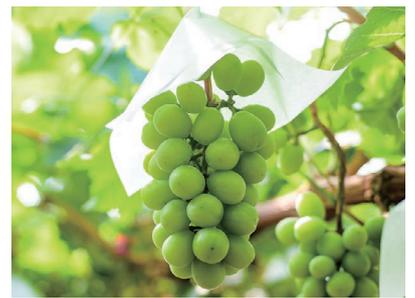


お話を伺った桑原陽子さん。

作品を作りあげていく感覚

桑原さんは現在、JAのリースハウス事業を活用して約10aのハウス3棟でシャインマスカットを栽培。苗木は3年で実を付け5年で大人の木になるといわれており、今年で5年目になります。栽培は3棟それぞれ出荷時期をずらすため①ビニールを二重にして重油を焚く②ビニールを二重にするが重油を焚かない③サイドを覆わない、と温度条件を変えて生育させ7月から9月にかけて出荷しています。栽培方法は花が咲き始めた頃に花穂整形をする必要があり、花穂の房元付近の2玉分の花芽を目印として残し、

いている夫に代わり、先に土台を固めるという気持ちで受講と就農を決意しました。



桑原さんは、出雲市アグリビジネススクールのぶどうチャレンジ講座を受講し、ぶどう栽培の基礎を学んだ。



房元付近に2玉分残し、種の有無や糖度のチェックに利用。赤いシールは成長の度合いを示す目印のために貼っている。



JAのリースハウス事業を活用して約10aのハウス3棟で栽培をおこなっている。桑原さんのハウスは写真奥の2棟と、離れた場所にもう1棟ある。

房先部分を3cm程度残してほとんどの花穂を切除。その後実がなりはじめると粒を大きくして玉揃いを良くするため、摘粒していきます。房元の2玉は種が無くならないかどうかが、糖度が18度以上になっっているかなどの収穫の目安に利用。それでもマニュアル通りにいかないことも多々あるとか。試行錯誤しながらひと房ひと房、理想の形と味を求めて手をかけていく過程は作品を作りあげる感覚に似ています。

時間がいくらあっても 足りない

作業は花穂整形や摘粒だけではありません。秋に葉が落ちて冬に剪定、気候を見極めながら温度管理を繊細に行い、ようやく付いた花穂。実が付きはじめると栄養が実に集中し大きくなるよう、脇芽を摘んでいきます。房は日差しが強くなり過ぎると黄色くなってしまいます。適度に光合成を促しながらシャインマスカット特有の綺麗な黄緑色になるよう、袋に入れるか紙の傘を被せて日焼けを防止。摘粒後もいらぬ粒を取って玉直しなど行います。作業の過程で、成長の早いもの遅いものを見極め赤と青のシールを貼って区別していきます。桑原さんのハウス1棟



ひと房ひと房丁寧に傘を被せていく桑原さん。日焼け防止のためには欠かせない大切な作業。



1棟10aのハウスには、20本の木が植えられている。2,000を超える房が所狭しと連なり、ハウス一面に明るい緑の光景が広がる。

大変さ、すべて吹き飛ばす 収穫の夏

には4列20本のシャインマスカットを植樹。ハウス1つで2,000を超える房があることを考えると、作業は膨大な量になります。

就農当時は桑原さんの周りに農業に関わっている人がいなかったため、わからないことがあっても気軽に相談できる人がいませんでした。何もかもがはじめての経験でわからないことだらけ。アグリビジネススクールや研修で実地と座学を学び、ある程度農業をイメージしていましたが、実際に就農してみると想像以上に大変な作業が続くことを

痛感しました。それでも講習会や青年部会などの会合やイベントに積極的に参加し顔を覚えてもらうことで、相談しやすい環境が整いました。栽培の基本的なことは主に県内の普及員から指導を受けますが、ちよつとしたコツや効率的な作業方法などは、先輩農家さんから教えてもらっています。



取材時は、あと1カ月で収穫という時期。実はこれからまだまだ大きくなり、糖度も増したところで収穫の時を迎える。

ます。そうして1年かけてさまざまな作業や課題に対処し、いよいよ収穫の時。自分が手をかけて育ててきた大きい玉で形の良いシャインマスカットを収穫する瞬間に、これまでの大変さが吹き飛びます。

シャインマスカットの美味しさを知ってもらいたい

桑原さんの場合、子育てが一区切りついたタイミングと、ハウスや土地をJAがコーディネートすることで、大きな初期投資をかけずにスムーズに新規就農することができました。トラクターなど大型重機を運転する必要のないぶどうの栽培は、女性でも参入しやすい品目なのも就農理由の1つです。若者の野菜・

フルーツ離れが心配されるなか、当面はシャインマスカットの栽培技術を磨きたいという桑原さん。多くの人にシャインマスカットの香りと極上の甘さ、皮ごと食べられる気軽さと美味しさを広めたいと考えています。



多くの人に美味しいシャインマスカットを食べてほしいと語る桑原さん。ぶどうのアクセサリを身につけるほど、ぶどうへの愛が感じられる。

シャインマスカット 一口メモ

シャインマスカットは、近年品種改良されたぶどうの中で最も美味しい、といわれるぶどうの1つ。青ぶどうながらも糖度が18度以上と高く、酸味が少なく果汁が豊富で皮がパリっとした食感が特徴。さらに、以前はぶどうといえば「皮を剥く、種を出す」ということが面倒と感じる人がいたかもしれないが、シャインマスカットはそんな概念を覆したことが人気の理由でもある。出雲市は日本で有数のデラウェアの産地だが、贈答用を中心に人気が上がっているシャインマスカットの生産も拡大に向けた取り組みをはじめている。



出雲地区本部 JALしまねラピタ農産物直売会



産直へようこそ!!

可成り産物大地域の特産品「ラピタ」
島根県内の産直店舗を「紹介」します。



直売会の石富会長

出雲市の人々に長年愛されている「ラピタ」。愛され続ける理由の一つである産直コーナーを支えているのが「JAしまねラピタ農産物直売会」だ。同会の会員数は約600人で、ベテランから若手まで幅広い生産者が加入している。同会ならではのこだわりとして、同会では農産物などを店へ持ち込むことを「出品」と呼んでいる。一般的に使用される表現としては「出荷」などもあるが、来店者に質の高いものを提供できるように自身が育てた農産物にプライドと責任を持ち、ひとつの「商品」として売り場に並べようという意識を共通のものとするため、あえて「出品」を使用している。

そのための会員のレベルアップは、同会が特に積極的に取り組んでいることのひとつだ。漬物など加工品の出品者に向けた食品衛生講習会、農産物の品質・収量の向上を目指すレベルアップ講習会など従来から購入できると好評だ。

旬の野菜もさることながら、盆や彼岸、年末シーズンの花木も産直コーナーの人気商品。「近隣のスパーなどと比べても屈指の品質と品ぞろえ」と担当者も自信をのぞかせる。ラピタは全店が島根県の「しまね地産地消推進店」の認証を受けている。安心・安全な出雲の農産物は、プライドを持って「出品」する同会の会員によって支えられている。



安心安全な農産物には生産者の愛情が詰まっている



イベントにも工夫を凝らす。感謝祭では軽トラが登場!

【ラピタ店舗紹介】

- ・本店 TEL: 0853-21-6060
- ・はまやま店 TEL: 0853-30-7770
- ・みなみ店 TEL: 0853-22-3733
- ・ひらた店 TEL: 0853-63-7300
- ・佐田店 TEL: 0853-84-0262
- ・多伎店 TEL: 0853-86-2444
- ・湖陵店 TEL: 0853-43-3535
- ・大社店 TEL: 0853-53-2800

※所在地、営業時間などは各店舗へお問い合わせください。

JA
自己改革
実践中

JAグループ島根

島根県とJAグループ島根が協力 より良い島根に向けて

島根県とJAグループ島根は6月28日、松江市殿町の県庁で「包括業務提携に関する協定」と「島根県農業産出額100億円増の早期達成に向けた共同宣言」を締結しました。締結式では丸山達也県知事とJA島根中央会の竹下正幸会長（6月28日現在）が出席し、協定書と共同宣言それぞれに署名。県とJAグループ島根が連携・協力することで地域の様々な課題に迅速に対応し、島根農業の活性化や組合員・地域住民が安心して暮らせる社会を目指します。

県はこれまで県外の民間企業と包括業務提携に関する協定を締結していましたが、県内の組織と協定を締結するのは初めてとなります。

「島根県農業産出額100億円増の早期達成に向けた共同宣言」では、①水田園芸などを柱に、収益力の高い魅力ある農業の確立②有機農業やGAPなど島根の強みを活かした特色ある生産の振興③将来にわたって島根農業を支える中核的な担い手の確保・育成——などを柱に、農業算出額100億円増加の730億円を目指すべく全力を尽くすことを宣言しました。

「包括業務提携に関する協定」の内容は、環境配慮への取組、子育て支援や高齢者・障がい者支援、地域や暮らしの安心・安全および災害対策についてなどの10分野。それぞれに具体的な取組内容が決められています。JAグループの総合力を駆使し、県と連携しながら地域の活性化や県民サービスの向上を目指します。

丸山知事からは「農業、農村、生活を支えているJAグループと様々な分野で連携できることを心強く思っている。農業産出額100億円増の達成に向けて、島根農業をより一層魅力あるものにすべく、認識を合わせて一緒に取り組んでいきたい」とお話しいただきました。

竹下会長は「農業が地域の活性化に貢献することによって、地域の皆さんが元気になる。また農地を守ることで、美観や災害が起こりにくい状況をつくることができる」と期待し、「農業振興の発展のための向かうべき方向は県と一致していると認識している。100億円増達成のため、県と協力し進めていきたい」と意気込みました。



竹下会長（左）と丸山知事



JA YOUTH

一所懸命 青年連盟

雲南青年連盟

雲南青年連盟は平成17年に設立し、現在は水稻、繁殖和牛、野菜、果樹農家と職員盟友の20名で活動をしています。毎年、島根県JA青年大会で行われるスポーツ大会では常に優勝を狙って、農業で培った体力をいかに発揮しています。

雲南独自の活動としては、小学生親子を対象とした「めぐりキッズスクール」の講師として、親子と交流をしています。これまではかかし作りをして地区本部駐車場へ飾ったり、年末には一緒に杵と臼を使った餅つきをしたりしていました。今年度は、6月22日に盟友のぶどう園にてぶどう狩り体験を行い、その後のヨーグルトを使ったピザ作りではレンガで作った窯でピザを焼き、親子と一緒に食べて交流ができました。

今後はもっと盟友数を増やして、若手農業者がいろいろな農青連活動を通じて、情報交換や交流を広げたいと考えています。



ぶどう狩りの前にぶどうの生育について説明をする盟友



ピザの生地づくりも盟友が講師となり親子に説明しました



レンガで作ったピザ窯で美味しいピザが焼き上がりました

やすぎ

園児の手作りてるてる坊主 店内を明るく♪

直売所なかうみ菜彩館は5月29日、みゆき保育園の年長さん18人とてるてる坊主作りを行いました。この企画は、稲田佳代店



長が梅雨時期の店内を盛り上げたいと考え、市内の保育所や園に、てるてる坊主作りの協力を毎年依頼しています。

園児は、稲田店長や安来東支店の職員からてるてる坊主の作り方を教わりながら、思い思いに顔や模様を描き、地元の安来節のどじょうすくいになんで手ぬぐいを頭にかぶせたオリジナルのてるてる坊主を完成させました。園児が一所懸命作ったてるてる坊主は梅雨の時期に店内に飾られ、店内と来場者の心を明るくしてくれました。



雲南

地元の新弟子応援 鳴戸部屋に仁多米50袋贈る

雲南市、奥出雲町、飯南町の有志16人と雲南地区本部は6月5日、東京都にある大相撲の元大関・琴欧州の鳴戸部屋にブランド米「仁多米」50袋（1.5ト）を贈りました。

今春、雲南市の山根駿也さんと松江市の三島慧太さんが新弟子として鳴戸部屋に入ったことや、新たに部屋が開設されることを受け、雲南市掛合町の景山俊太郎さんが「鳴戸部屋へ雲南米を贈る会」を立ち上げました。

景山さんは「この一歩が鳴戸部屋との長いつながりになることを期待するとともに、新弟子の皆さんには伸び伸びと頑張っ



元大関・琴欧州（左）と景山さん



鳴戸部屋の皆さんと記念撮影。米俵を持つのは山根さん（左）と三島さん

次回

お知らせ

8月号は 総代会特集!



(写真は昨年のももの)

6月30日に開催した第5回通常総代会の様子は、8月号の特集誌面にてご紹介いたします。

本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎすべきところですが、作成スケジュールの都合から8月号への掲載とさせていただきます。

なお、総代会情報は、先行して当JAのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。



<https://ja-shimane.jp/archives/1968/>



くにびき

プロから学ぶ!イタリア料理に挑戦! サン・サン料理教室開催

くにびき地区本部は5月28日、教育文化センターSan・san館で「シェフに学ぶイタリア料理」を開催し、17名が参加しました。

今回は、松江市春日町でイタリアンレストラン「キッチンアンドカフェ フィーロ」を経営する古谷隆志氏を講師に招き、「穴道湖のしじみのペペロンチーノ」「鶏もも肉と新ジャガのオープン焼き～ローズマリー風味～」 「春野菜のサラダ～シチリア風レモンのドレッシング～」 「イチゴとマスカルポーネチーズのティラミス風」の4品にチャレンジ。

講師から、調理方法や注意点、味付けのコツについて説明を受けた後、早速、料理を開始。「パスタを茹でるときは、お湯の量に対し、1%の塩を入れるとおいしく仕上がる」とアドバイスを受けながら、オリーブオイルや香草など、イタリア料理には欠かせない材料を使い、丁寧に調理していきま

した。参加者は、「日頃、イタリア料理は作らないので、家庭でも挑戦し、家族に振る舞いたい」「野菜の茹で方や切り方も学べてよかった」と感想を語りました。



古谷講師（左から2人目）から指導を受ける参加者

出雲

フラワーフェスティバル 父の日に合わせ開催

J Aしまね出雲花卉部会は「父の日」を前にした6月8、9日の両日、同J A出雲地区本部の生活購買店舗ラピタで「フラワーフェスティバル（花の販売・展示会）」を開催しました。30年以上前から続く恒例のイベントで、前島信行部会長は「父の日にも花を贈ってもらおうと、毎年この時期に開いています」と趣旨を話しました。

生産者自ら切花や花木、アレンジメントを販売し、消費者と交流したほか、出雲産の花を中心とした展示会では52点の花卉が会場を彩りました。

8日には同部会から同地区本部の岡田達文副本部長と市農林水産部の金築真志部長に花束を贈呈し、PRしました。



部会員から岡田副本部長（左奥）と金築部長（左手前）に花束を贈呈

斐川

園児が枝豆の種まき

斐川地区本部の担い手担当職員（通称：TAC）は6月10日、食農教育の一環として、あい川保育園と出西保育園で園児たちに枝豆（ゆかた娘）の種まきを指導しました。はじめに枝豆について説明し、つぎに黒マルチに穴を開け、黒マルチが無い圃場には15センチ間隔に印を付けたビニールロープを用意し、園児たちが印に沿って指で穴を掘り「はやく大きくなってほしい！」と言いながら一粒ずつ丁寧に種をまいていきました。両保育園では食農教育に力を入れていて、今回まいた枝豆だけでなく他の野菜も育てており、園児たちは水やりや、草取りなどの世話をしながら管理していきます。8月中旬には、収穫した枝豆を園で調理し、給食やおやつとして味わう予定です。



出西保育園の園児たち



あいかわ保育園の園児たち

隠岐

農産物生産者協議会総会を開催

隠岐郡隠岐の島町の総合体育館内会議室で6月21日（金）、隠岐地区本部管内の野菜、椎茸、花卉および果樹の生産者で構成される、隠岐農産物生産者協議会の総会を開催しました。

隠岐農産物生産者協議会は、野菜部会、椎茸部会、花卉果樹部会で構成されており、各部会で毎年、島外視察研修、技術講習会等を積極的に開催し、生産技術の向上を図っています。

総会では、平成30年度の活動報告があり、野菜部会において乾燥野菜への取り組みが図られ、商品化されたことなどについて報告がありました。また、令和元年度の活動計画等について協議し、地産地消の拡大を目指し活動を確認し閉会となりました。



隠岐
どうぜん

隠岐郡畜産共進会 ふく号グランドチャンピオン

6月12日（水）西ノ島町船越の畜産振興施設を会場に「隠岐郡畜産共進会」が盛大に開催されました。隠岐島の各地域から選抜された黒毛和種牛が、1区（子牛の部）に10頭、2区（若雌の部）に15頭の計25頭出品されました。審査員による発育・資質などの厳正な審査の結果、海士町の戸鳴豊さんの愛牛「ふく号：若雌の部首席」が見事グランドチャンピオン牛に選出されました。この結果を受けて、今年度より隠岐郡出場枠が1頭増え2頭となった「島根県種畜共進会」に、「ふく号」と2区2席の隠岐の島町の田中井秀和さん出品の「ひさめぐみ号」が出場することになりました。昨年の島根県種畜共進会では、隠岐の島町の高井芳江さんの愛牛「しげしげ号」が隠岐から初のグランドチャンピオンに輝きました。隠岐海峡を渡った優勝旗が今年度もとどまるよう連覇を目指し、隠岐の牛の品質のアピールと益々の和牛産地に繋がることを心から祈念します。



いわみ
中央

西部3地区女性部が 浜田で交流

いわみ中央女性部は6月12日、西部3地区女性部ふれあい研修会に参加しました。この企画は西部(島根おおち・西いわみ・いわみ中央)地区本部女性部員が一堂に会し、親睦を図ることを目的に開催しているもので、今年で7回目を迎えました。

今年はいわみ中央女性部が事務局となり、地域の特色を生かしたスケジュールで2地区総勢約70名の女性部員を迎えました。

午前石見豊ヶ浦(国指定天然記念物)へ観光。豊ヶ浦の歴史や珍しい地形、化石などボランティアガイドの話聞きながら散策しました。午後は、体を使ったレクリエーションで歌ったり踊ったりして親睦を図り、その後、家の光記事活用で「幸運を呼ぶポンポン」をそれぞれ作成しました。終始、笑顔の絶えない楽しいひと時を過ごし、来年度の再会を楽しみに会場を後にしました。



石見銀山

鳥井小学校児童が販売体験

大田市ぶどう生産組合は6月14日、大田市長久町のJ Aグリーンおおだで「デラウェア」の試食宣伝を行いました。生産者4名が店頭立ち、デラウェアを直接消費者にPRしました。

また、大田市鳥井町の鳥井小学校4年生10名も体験学習の一環として、生産者と一緒に試食宣伝を行いました。

同校の3~4年生は年間を通して、デラウェアの栽培体験を行っていますが、この販売体験は初めての取り組みとなります。

児童は販売、呼び込み、試食と役割を分担し、「美味しいぶどうを食べてください」と消費者に元気に声をかけ、大田市のブドウをPRしました。



試食宣伝を行った鳥井小児童と大田市ぶどう生産組合の組合員

西いわみ

子どもたちが 田植えと泥んこ遊びを体験

(有)赤雁の里(代表渡邊哲朗)とJ Aしまね西いわみ地区本部は6月9日、益田市赤雁町の農村公園赤雁の里で「農村歳時記」と名付けた農業体験教室を開き、児童らが田植えと泥んこ遊びを体験しました。

当日は児童や保護者、関係者など約45名が参加し、新元号「令和」の文字をうるち米「きぬむすめ」と古代米の一つ「紫黒米」を使って描きました。関係機関職員が講師役となり、子どもたちに苗の植え方のコツを指導しました。

田植えを終えた子供らは、田んぼの中で旗とり競走やそり遊びを楽しみ自然と親しみました。



島根
おおち

(株)スパーク山陰フェア

広島県の地域密着型スーパー(株)スパークで6月8日(土)、島根県の青果物と特産品を揃えた山陰フェアが開催されました。広島市内のスパーク中山店(東区)、浜田店(安芸郡府中町)の2店舗で、いわみ中央地区本部、西いわみ地区本部と共に参加し、島根おおち地区本部からも職員が店頭立ち、地元産サニーレタスや菌床椎茸、さくらんぼ等の野菜や果実のPRや販売を行い店頭は賑わいました。

島根おおち地区本部と(株)スパークは、島根おおち野菜ブランド「愛菜の郷」の出荷をはじめ、毎年11月から12月には管内の加工場で製造している杵つき餅の職員による実演販売、また出荷している農畜産物への理解と関心を高めていただくため、管内産地の視察を実施するなど30年以上の交流を続けています。

島根おおち地区本部では、県内外の多くの方に管内の農畜産物を知り、食べていただけるよう、積極的なPR活動を行っています。



タテのカギ

- ② 夏休みの最終日に慌てて片付ける子もいます
- ⑤ 酒のお供です
- ⑦ 建具の滑りを良くするために敷居に塗ることも
- ⑧ 脂——、糖——、タンパク——
- ⑨ 野球のピッチャーが登る所
- ⑪ その人が住んでいる所。彼は——の名士だ
- ⑫ ロケットが飛び立つ先
- ⑭ 鶴と並んでめでたい生き物
- ⑮ 芝居の最後に下ろす物
- ⑯ 上野動物園生まれのシャンシャンは何の動物？
- ⑰ イチゴ味やメロン味のシロップを掛けて食べます。パピンスやハロハロもこの一種

ヨコのカギ

- ① 令和元年は8月8日。暦の上ではもう秋です
- ② 日焼けした後にできることも
- ③ 彼女の料理の腕前は——はただしだ
- ④ アップの反対語です
- ⑥ 竹や梅と並んでめでたい植物
- ⑨ こすれてすり減ること
- ⑩ 五輪で3位の選手の首に掛けられます
- ⑪ 辞書で四字——の意味を調べた
- ⑬ おこわを竹の皮でくるんだ中華——
- ⑭ 握りずしを数えるときに使う言葉
- ⑯ フランスの首都。花の都といわれます

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	8		12		17
			E			
	6			13	15	A
2			11			
		9				
3	7				16	
4				14		
		10				

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2019年8月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ブルーベリー」

オ	リ	ヒ	メ		ハ	イ
2	オン		シ	ア	ワ	セ
3	フリ	キ		ル	イ	
	ネ	ヤ	サ	カ	フ	
		カ	ベ	リ	レ	エ
4	ブン	ツ	ウ		バ	ス
5	タ	キ	デ	バ	ー	ト

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。



食中毒に気をつけて

JA島根厚生連

食中毒は『腹痛』、『下痢』、『嘔吐』等が主な症状の、飲食物による健康障害です。ひとくちに食中毒といっても、その種類や原因により流行時期や症状にも違いがあります。そこで、食中毒のことを知り、食中毒にかからないように備えましょう。

◎食中毒には次の5種類があります。

- ① 春や秋の旬の時期に発生しやすい『自然毒食中毒』
 - * 動物性…フグ、毒貝など
 - * 植物性…毒キノコ、カビ毒、毒草など
- ② 夏にピークがやってくる『細菌性食中毒』
 - * 感染型…カンピロバクター、サルモネラ、腸炎ビブリオ、赤痢菌など
 - * 毒素型…黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌、セレウス菌など
- ③ 寒い季節（冬）に発生しやすい『ウイルス性食中毒』
ノロウイルスなど
- ④ 食品内に含まれることで発生する『科学性食中毒』
水銀、鉛、カドミウム、農薬、殺鼠剤、メタノールなど
- ⑤ 魚介類などの生食に注意！！『寄生虫食中毒』
アニサキス、クドアなど

◎これからの季節は『細菌性食中毒』が多くなります。予防を心がけましょう。

☆石鹸で正しく手を洗いましょう。

- ① 調理を始める前
- ② 生肉や魚、卵などを取り扱う前後
- ③ 食卓につく前
- ④ 残った食べ物を扱う前
- ⑤ 調理中のトイレの後や鼻をかんだ後
- ⑥ オムツ交換や動物に触れた後



☆毎日の食事で気をつけましょう。

- ① 食材を買う時…新鮮食品は新鮮な物を買ひ物の最後に買い、寄り道をせず早く持ち帰る。
- ② 保存する時…持ち帰ったらすぐに冷蔵庫や冷凍庫に、肉、魚、野菜などは個々に保存。
- ③ 調理する時…*野菜は必ず流水できれいに洗う。*肉や魚は十分に加熱する。（中心部を75℃1分以上）*まな板や包丁は肉用、魚用、野菜用と使い分けると安全。*生ゴミは菌の温床となるので、こまめに処理。
- ④ 食べる時…清潔な食器を使う。調理後、室温で長時間放置しない。
- ⑤ 残った時…清潔な容器に保存。時間が経ちすぎた物や、少しでも怪しいと思った物は食べずに捨てる。

あらためて、確認をしていただき、安全な食生活の参考にしてください。

次世代につなぐ

～ホーランエンヤを終えて～

10年に一度の船神事を無事に終え、JAの組合員でもある五大地の総代長及び総代の皆さんにご回答いただきました。



大海崎 権伝馬
古藤 弘巳 総代長



福富 権伝馬
稲場 久和 総代



大井 権伝馬
野津 照雄 総代長



矢田 権伝馬
松浦 哲次 総代長



馬潟 権伝馬
矢田 浩 総代長

〔一番船〕馬潟



初参加列は、1808年から。幟は、馬潟権伝馬船だけに許された紫色を用いている。

Q1. ホーランエンヤを通しての感想

無事に終えてほっとしています。乗船員や関係者は長期間にわたり、準備や練習に大変だったと思います。その苦労の分だけ務めを終えた時の達成感は大きく、全員がやって良かったと言える神事だったと思います。

Q2. うれしかったことや感動したこと

38万5千人もの観覧者から随所で沢山の声援・歓声・拍手をいただき、乗船員もそれをエネルギーに変えて最高の権伝馬・唄・踊りが披露できたと思います。権かきが掌に豆をつくりながら練習してくれたこと、子どもたちが勉強や部活で疲れているなか遅くまで練習してくれたこと、世話人さんが寒い中、権ぶぎ製作のため大橋川の冷たい水でシユロを晒してくれたこと。その他、半年間、一生懸命ホーランエンヤのために頑張ってくれた、これらすべて「一馬潟権伝馬」の誇りだと思います。

Q3. 次世代へつなげたい思い

今回も権かき、踊り子の確保に大変苦労しましたが、今までのやり方を変えて、何とか務めを果たすことができました。伝承には、絶対に変えてはならないところを変えてでも伝承せざるを得ないところがあります。そこをはき違えずに創意工夫し、「一馬潟権伝馬」の使命感と誇り、そして熱い思いさえあれば、しっかりと伝承できると思います。

〔二番船〕矢田



初参加列は、1818年から。宝珠を取り付けた長い棹を2本立てるのは、矢田権伝馬船唯一である。

Q1. ホーランエンヤを通しての感想

一言では言い尽くせませんが、事故もなく無事に終わったことに安堵しています。人員確保に苦慮し、半年前にやっと目途がたち、そこから全員が最後までやれたことに大変喜んでいきます。

Q2. うれしかったことや感動したこと

様々な報道を通して、称賛の声を聞き取る度に嬉しく思います。実際にお手紙をいただくこともありますが、とても感動します。

Q3. 次世代へつなげたい思い

戦前までは踊りなどの型を作ってきました。戦後は、船などのハード面を安定させてきました。これからは、人員面をどうするかが課題だと思っています。今回、3分の2は地区外の方でしたが、この地区やこの神事に思いのある方にもサポートしていただきながら、伝統を継承していったほしいと思います。

Q4. その他

町内を取り巻く環境は、めまぐるしく変化しており10年後が心配ですが、行政と手を携えていかなければならないと考えます。

〔三番船〕

大井



初参加列は、1828年から。中央だけでなく船尾にも擬宝珠があるのが特徴である。

Q1. ホーランエンヤを通しての感想

令和元年度の松江城山稻荷神社式年神幸祭「ホーランエンヤ」が成功に終わり、本当に良かったと思っています。

Q2. うれしかったことや感動したこと

地域の若者が集い、一つにまとまって大成功にできたこと、城山稻荷神社奉納（還御祭）で関係者一同が万歳をして、お互いがねぎらい、次の再会を誓いあったことが、嬉しくもあり感動的でした。

Q3. 次世代へつなげたい思い

師匠・伝馬乗船員・総代・保存会との繋がりを大事にし、伝統を口頭だけではなく、身体を使って思いを伝えていってほしいです。

Q4. その他

10年に1度のホーランエンヤに取り組むことで、地域のリーダーが育ち、地区が一つになりまとまりができ、尊敬され、町内会自治会の発展につながる事が大事だと思っています。

〔四番船〕

福富



初参加列は、1838年から。船に立てる2本の棹には、それぞれ宝珠と矢車を取りつけている。

Q1. ホーランエンヤを通しての感想

伝統文化に係わり、老いも若きも町民の皆さま・先人・先達のご支援・ご協力によって、大神事を滞りなく奉納できました。感謝するとともに、この地区に住む誇りと喜びを再認識しました。

Q2. うれしかったことや感動したこと

最後を飾る還御祭の松江城山稻荷神社境内における奉納は、練習の成果が十二分に発揮され、素晴らしい出来栄で感銘しました。奉納後に帰港した祭、たくさんの方の皆さまの歓迎を受け、片付けにも協力していただけたことが、皆さまの心が一つになった証左だと思います。

Q3. 次世代へつなげたい思い

社会環境等の変化に対しては、柔軟性と適応性を具備し、唄や踊りなど原理原則の部分は徹底的に伝承し、質実剛健である福富ホーランエンヤをしっかり守ってほしいです。

Q4. その他

伝統ホーランエンヤを守ること、即ち地域を守ることです。日常的に良好な地域コミュニケーションを形成し、町内活動の活性化に注力することが肝要だと思います。

〔五番船〕

大海崎



初参加列は、1848年から。「先頭船」と書かれた幟には、権伝馬船の先頭を切る心意気と責任感を表している。

Q1. ホーランエンヤを通しての感想

約2年前から準備を始め、大半がボランティアで町内をはじめ、皆さんに協力していただき、一大神事を無事終えることができ満足しています。

Q2. うれしかったことや感動したこと

私の立場上、神事を肅々とこなさなければならぬという気持ちが大きく感動よりも責任感の方を強く感じました。しかし、今回は観覧者も過去最高で、また外国の方も多く足を運んでくれたことは素直に嬉しかったです。

Q3. 次世代へつなげたい思い

全てを次世代に継承したいですが、人がいなければ何も始まりません。今回は縁故関係等で何とかできましたが、10年後にどうなっているかはわかりません。まずは人の確保。その次に伝承だと考えます。

Q4. その他

世帯数も減る中で、これだけの神事はかなりの負担がありました。今後は保存会などを通して、様々な点を見直していかなければならないと痛感しました。

くにびき地区本部情報

組んでいます。 ～くにびき地区本部の取り組み～

くにびき青年連盟と 育英北幼稚園園児が 田植え体験



田植えを楽しむ園児

くにびき青年連盟（野津喜洋委員長）は6月4日、農業の魅力を体験してもらおうと、育英北幼稚園つき組（年長5歳児クラス）の園児27名

を招いて、田植えを行いました。当日は、くにびき地区本部の北側にある7aの水田に集合。野津委員長が「苗は3本ずつ植えましょう。指が全部入るぐらいまで深く植えて、おいしいお米を作ろう」と実演を交えながら説明しました。

苗を手にした園児は、園で練習した通りに横一列に並び、先生の合図に合わせ、一斉に田植えを開始。中には、足が抜けずに尻もちをつき、泥まみれになっている園児もいましたが、苗を植え終わると、自分たちが植えた田んぼを嬉しそうに眺めていました。

田植え後、伊藤友架さん（5）から「田んぼには悪い生き物がいるの」と質問があり、盟友が「カメムシなど、稲を病気にする悪い生き物がいるけど、葉などを使って稲を守るから大丈夫だよ」と回答。また、津森将太郎くん（5）は「みんなと一緒に植えることができて楽しかった。おいしいお米ができたらいいな」と笑顔で感想を述べました。

今回植えた苗は、盟友らが維持管理し、10月の収穫期には稲刈り体験を予定しています。



植え方について説明する野津委員長

消防操法大会で副賞にホースを贈呈

東出雲方面団と玉湯方面団が栄冠に輝く



副賞を手渡す越野部長

消防団員の消防技術向上と体力気力を鍛錬する目的で、「第8回松江市消防操法大会」が6月23日、鳥根県消防学校で開催されました。くにびき地区本部は、消防団の活動に役立ててもらおうと、毎回全チームに飲料と優勝チームに副賞としてホースを贈呈しています。

大会には、消防車からホースをつなげて放水する「ポンプ車の部」と、ポンプに1本のホースをつなげて放水する「小型ポンプの部」に、合計16チームが出場。号令から放水までの時間を、動作の正確さなどを競いました。

審査の結果、「ポンプ車の部」は東出雲方面団が初優勝、「小型ポンプの部」は玉湯方面団が2年連続優勝に輝きました。表彰式では、越野浩昭企画総務部長（※7月1日より統括部長兼務）が、チームの代表者に副賞のホースを贈呈しました。

玉湯方面団の13連覇を阻み、優勝に輝いた東出雲方面団の指揮者を務めた足立敏幸さん（48）は「他のメンバーのサポートや指導のおかげで、憧れの玉湯方面団に勝つことができた。県大会に向け、細かい部分やタイムを修正し、上位入賞を目指したい」と意気込みを語りました。



ポンプ車の部 優勝 東出雲方面団



小型ポンプの部 優勝 玉湯方面団

7月27日に浜田市で開かれる県大会には、優勝チームの他に「ポンプ車の部」2位の宍道方面団、「小型ポンプの部」2位の鹿島方面団、3位の宍道方面団が出場します。

取り組んでいます。 ～くにびき地区本部の取り組み～

住宅ローンの有利性をPR！ 業者へ向けた住宅ローン説明会を開催



講演する吉田税理士

JAしまねは利用者と密接な住宅業者にJA住宅ローンを理解してもらい、連携強化を図ろうと6月20日、くにびき地区本部営業総合センターで住宅ローン説明会を開催しました。

県下を三つの会場に分け東部会場として開催した当日は、33社より63名が出席。冒頭、新宮紀彦金融共済部長が「多くの方に利用していただけるような商品が揃っている。今後の営業活動に活かしていただきたい」と挨拶しました。その後、やすぎ地区本部、雲南地区本部の担当者が、商品の内容や有利性を説明しました。



講演を聞く参加者

その後、税理士法人錦織会計事務所の吉田道夫税理士が「住宅営業マンのための使える住宅減税情報」住宅関連減税のポイント」と題し講演。住宅ローン控除の基本条件や消費税増税による住宅ローン減税への影響をわかりやすく解説しました。出席者は「JAの商品は利用者からの評判がいい。理解を深めることができたので、今後に活かしたい」と話しました。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り



くにびき地区本部とJA共済連島根は、松江警察署と連携し6月11日に、松江市立鹿島中学校で「JA共済自転車交通安全教室」を開催しました。当日は、全校生徒や教職員、関係者など約150名が参加。

**ルールを守り他校や地域の見本に！
鹿島中で交通安全教室開催**

交通事故の再発を防止し、事故の衝撃や恐れを軽減し、小さなルール違反や油断が重大な事故を招く危険性があることを学びました。

地区本部から挨拶の後、自転車安全リーダー委嘱式が行われ、山本林太郎生徒会長と上田遥斗生徒副会長が、松江警察署の伊藤敏成署長から自転車のマナーアップモデル校の指定書を受け取りました。指定書を受け取った、青山千紘生活委員長は「一人ひとりが模範となり、交通事故のない安全な地域にしたい」と誓いを述べました。

その後、プロのスタントマン7名が、二人乗りやながら運転などの違反運転や運転者の死角で、発生する事故などを再現。生徒たちは時折声を上げながらも真剣な眼差しで、交通安全に対する意識を高めていました。

田中愛梨生徒副会長は「事故の衝撃に驚いた。マナーやルールを守り、交通事故を減らしたい」と話していました。



伊藤署長(右)から指定書を交付される生徒会長(中)と生徒副会長(左)

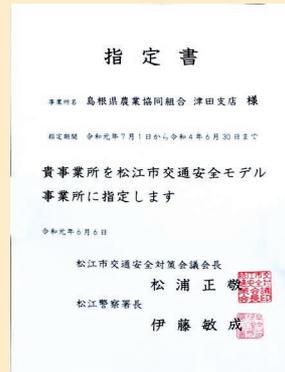


▲伊藤署長(右)より指定所を受け取る今岡支店長(左)

は6月6日、市役所の防災センターで指定書を受け取りました。

「松江市交通安全モデル事業所」は、指定を受けた年から3年間、交通安全思想の普及や無事故無違反実践活動の推進などに取り組むものです。

当日は、会長の松浦正敬市長が「全国では、高齢者や子どもが犠牲になる事故が増加している。日本一交通事故のない県都松江を目指しましょう」と挨拶。その後、今年度から新たに指定された津田支店を含む10事業所が、松江警察署の伊藤敏成署長から指定書を受け取りました。



松江市交通安全対策会議
安全対策会議
(松浦正敬会
長)より「松
江市交通安全
モデル事業
所」に指定さ
れた津田支店

**松江市交通安全モデル
事業所に津田支店が指定！
交通安全への意識高める**

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて

苗植えは、秋の「ふれあい親子いもほり大会」に向けて毎年行っており、今回で30回目を迎えます。

当日は、盟友や学生など32名が参加。女子大は毎月の講座も兼ねており、営農指導員から生育方法や植え方について講義を受けたのち、苗植えの実習に移りました。

参加者は、火ばさみで苗をはさみ、30aの広大な畑に並ぶ約80mの畝に、差し込むように植えていき、イモが大きく育つよう願いを込めました。

野津委員長は「秋の収穫までみんなで協力して管理していきたい」と意気込み、参加した学生は「苦労して植えたぶん、大きく育ってほしい」と話しました。



丁寧に苗を植える学生

くにびき青年連盟(野津喜洋委員長)とくにびきサンサン女子大の学生は6月9日、東出雲町の中海干拓地の圃場に、ベニアズマとベニハルカの苗4,000本を植え付けました。

**くにびき青年連盟と
サンサン女子大がコラボ！
サツマイモの苗植えを体験**



くにびき地区本部情報

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



良質米生産を目指して！ 水稲現地指導会開催

くにびき地区本部と鳥根県東部農林振興センターは6月に、管内14会場で水稲栽培者を対象とした現地指導会を開催し、合計114名が参加しました。

指導会は、管内の生育状況や今後の栽培管理のポイントについて説明することで、更なる良質米の生産につなげてもらおうと実施したものです。

14日、八雲支店で行われた指導会には12名が参加。同センターの藤原希技師が「水不足により、管内の生育状況は順調とは言えない。気象状況に注意しながら今後の管理を徹底し、良質米を生産していただきたい」と挨拶し、今後の管理方法や病害虫の防除について説明しました。



圃場で説明を受ける参加者

その後、八雲町東岩坂にある前田保典さんのモデル圃場に移動し、現地指導を開始。JA営農指導員が圃場の状態や生育状況を確認しながら、ガス湧きや病害虫が寄りつく原因などについて解説しました。

参加した安部章一さん(69)は「実際に圃場を見ることで、自分の圃場と比較ができた。今後の参考にしたい」と話しました。



指導会の様子

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



松江市農政会議総会開催



和元年度の事業計画など、全議案を承認しました。

和元年度の事業計画など、全議案を承認しました。当日は、来賓の松浦正敬市長をはじめ、会員など約170名が出席。冒頭、上山根会長が「食料や農業、農村を守っていくのが我々の役目。一丸となって、地域農業を盛り上げていきましょう」と挨拶。続いて、松浦市長が「AIやICTがこれからの経済成長のカギ。スマート農業に積極的に挑戦し、地域農業を発展させてほしい」と話しました。

その後、宍道支部の永江久夫さんを議長に選任し、議事を進行。今年度は、地域農業・農村の振興・活性化に向け、JAグループと連携し、消費者・地域住民の理解と支援を深める活動などに取り組みます。

このほか、役員の変更もあり、会長と4名の副会長が再任し、木村邦之さん(玉湯)と小豆澤正美さん(宍道)を新たに、副会長として選任しました。

新役員による挨拶



第9回 松江市農政会議通常総会

若い力で地域の農業を引っ張る！ くにびき青年連盟総会開催



野津委員長の挨拶

した。

当日は、盟友とJA関係者48名(委任状出席25名)が出席。冒頭、野津委員長は「青年連盟での活動を通じ、たくさんの方と出会い、たくさんの方の経験ができた。ここに集う盟友も出会いや経験を同じ、大きく成長し、ともに地域の農業を引っ張っていこう」と挨拶。続いて、島根県農協青年組織協議会の草野拓志会長が「貴青年連盟は、食農教育や婚活などを中心に、積極的に活動をしている。今後も県内の農業をもっと盛り上げてほしい」と激励しました。

総会では、法吉地区の吉川純平盟友を議長に選任。前年度の活動報告や今年度の活動計画と収支計画案など、全議案が承認されました。今年度も引き続き、食農教育や地産地消の推進、仲間づくり運動などに取り組み、SNS等で農業の魅力や活動をPRします。



総会の様子

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



へか鍋

「へか鍋」は煮物とは違い、汁が多めで少し甘みがあり、具材には季節の旬な野菜等を使用して作ります。今回は新ジャガイモや新タマネギなど今が旬の野菜を使い、栄養たっぷりに仕上げました。簡単でおいしく食べられる料理なのでぜひ、作ってみてください。

【材 料】(4人分)

ジャガイモ……400g タマネギ………400g
ニンジン………150g 鶏もも肉………150g
厚揚げ………150g 練物(天ぷら他) ……150g
サヤインゲン(又はスナップエンドウ) ……適量

(調味料)

だし汁………360cc 濃口醤油………大さじ3
みりん………大さじ3 酒………大さじ3
砂糖………大さじ1

【作り方】

- ①材料は大きめの乱切りに切っておく。
- ②サヤインゲンは塩茹でしておく。
- ③だし汁に調味料を全て入れ、切った材料をジャガイモから順に入れて、煮汁が半分ぐらいになったら、味が全体に染み込むように混ぜ、後は弱火で煮込む。
- ④出来上がり前に塩茹でしたサヤインゲンを彩りに入れて器に盛り付け、完成。



今月の料理人

東出雲支部
一瀬 律子 さん(左)
森口 順子 さん(中)
太田 久子 さん(右)



材料は小さく切ると煮くずれするので大きめに切りましょう。サヤインゲンは一緒に煮込んでも良いですが色が悪くなるので注意しましょう。

参加者募集!

サン●サン 料理教室

日時

2019年8月23日(金) 10:00~13:00
※定刻になり次第開始しますので、時間に余裕をもってお出かけください。

場所

くにびき地区本部
San・san館
松江市西川津町1635-2

牛乳を和食に使う、新しいスタイルの料理「乳和食」に挑戦してみませんか! 「乳和食」レシピ考案の料理家・小山浩子氏に学びます。組合員、利用者、松江市民を対象に参加者を募集します。(男性大歓迎!)



8月のメニュー 乳和食で健康長寿100歳!

- ★季節のホエイおこわ ★鮭のミルク塩麹焼き
 - ★春菊とくるみの白和え ★かぼちゃのミルクそぼろ煮
 - ★季節の味噌汁 ★ブルーベリー寒天
- (メニューは都合により変更させていただくことがあります)

募集人数 25名程度

組合員、利用者、松江市民の方を対象に募集します。(男女を問いません)

参加費 1,000円(当日現金にて申し受けます)

準備品 エプロン・三角巾・マスク・筆記用具など

申込締切 2019年8月16日(金)

お申込み/お問い合わせは

①住所②氏名③電話番号をご記入の上、ハガキまたはFAX、Eメールでお申込みください。

〒690-0823 松江市西川津町1635-1

くにびき地区本部企画総務部ふれあい課・サンサン料理教室係

TEL: (0852) 55-3018 FAX: (0852) 32-6870

E-mail: community-affairs.kun@ja-shimane.gr.jp

くにびき
女性部の皆さまへ！

令和元年度 「マンモ 乳がん検診」 のご案内

日 時：8月28日（水）9：00～14：30
会 場：くにびき地区本部
教育文化センター San・san館
料 金：500円 ※検診当日、お持ちください。
申込締切：8月9日（金）まで



★マンモグラフィ（乳腺・乳房専用のレントゲン）による乳がん検診です
乳がんの早期発見、早期治療を目的として、マンモグラフィ装置を搭載した検診車にて乳がん検診や自己検診指導を行います。なお、下記に該当する方は検査ができませんのでご了承ください。

- ◆妊娠の可能性のある方または授乳中の方、断乳6ヶ月以内の方
- ◆豊胸手術（脂肪吸引、シリコン注入、シリコンバックなど）を受けた方
- ◆ペースメーカーを入れている方
- ◆脳室—腹腔内シャント（VPシャント）を入れている方

★女性部員だけの特別料金です。

1方向撮影（内外斜位方向撮影） 4,350円
2方向撮影（内外斜位方向撮影） 6,500円
のところ どちらも500円で検診できます。

★ポイントがたまります

健診当日に「JAしまね総合ポイントカード」をご提示いただくと、20ポイントが付与されます

★時間予約制です

午前・午後の希望を申込用紙に記入ください。受付時間を設定し、8月20日頃に書面にてお知らせします。検診は10分程度で終了予定です。※申込人数によって希望時間に添えない場合がありますのでご了承ください。

●お申込みは、専用の用紙をふれあい課から取り寄せ、**8月9日（金）まで**に、提出ください。

●定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

お問い合わせは

くにびき女性部事務局 ふれあい課

TEL：0852-55-3018 FAX：0852-32-6870

今月の特選車

スバル サンバートラック TC



〔年 式〕平成29年式
〔走 行〕2,961km
〔車 体 色〕白 5MT 4WD
〔車 検〕受渡し
〔装 備〕AC PS PW CDチューナー

〔車両本体価格〕
850,000円（税込）
（諸費用別途）

※すでに売却済みの場合はご容赦下さい。

お問い合わせ先は
自動車センター TEL：55-3077

福祉事業廃止のお知らせ

平成12年より行ってまいりました福祉事業につきまして、諸般の事情によりショートステイは令和元年8月末、デイサービス・ヘルパーステーション・介護相談センターは令和2年2月末を期限として廃止することにいたしました。長年にわたり、ご利用いただきありがとうございました。

施設名	廃止日
ショートステイ	令和元年8月31日 （最終営業日8月23日）

施設名	廃止期限
デイサービス	令和2年2月末
ヘルパーステーション	
介護相談センター	

お問い合わせは
くにびき地区本部 福祉課
TEL：0852-62-8042

自動車センター 休業のお知らせ

自動車センターは下記の期間を休業とさせていただきます。
休業期間：8月10日（土）～8月15日（木）
大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

令和元年産米出荷申込書の受付と集荷対応について

米出荷申込書の受付につきまして、ふれあい店の営業時間が10時となりましたが、受付後、速やかな集荷に努めますのでご理解いただきますようお願いいたします。また、新たにカントリーエレベーター稲蔵を受付場所とし、ポストを設置しますので、ご利用ください。

受付場所	受付方法
支店	ポスト投函及び窓口
ふれあい店	ポスト投函及び窓口
カントリーエレベーター稲蔵	ポスト投函及び事務所

※ふれあい店窓口は10:00~12:00、13:00~15:00となります。
※営業時間以外はポストへ投函ください。

JAのおすすめ肥料！

元気な野菜・果樹・花づくりに最適な土づくり肥料の「畑のカルシウム」のご紹介です！作物にカルシウムを与えると根の発育を良くし、茎を丈夫にし、花持ちを良くしたり収量が増える等の効果が期待できます。「畑のカルシウム」は、水に溶けやすく作物吸収されやすいカルシウム肥料で、ジャガイモのそうか病抑制や果菜類の尻腐れ症の予防にも効果が期待できます。

畑のカルシウム 3つの特徴

- ①水に溶けやすくカルシウム欠乏症に効果的
- ②下層土を改良し、根が深くまで伸びる
- ③土壌のペーハー(pH)を上げない

畑のカルシウム
分析値%
カルシウム
28.5
硫黄
17.0



20kg袋
1,662円(税込)

水に溶けやすく、作物に吸収されやすい

ネギの根張り比較

ハクサイでの芯腐れ症(あんこ症)対策に！！



芯腐れ症株

正常株



根張りが向上！

対照区 畑カル区

5kg袋
706円(税込)

1袋当りの基肥標準使用量
20kg袋で60坪(200㎡)5kg袋で15坪(50㎡)

お求めは、お近くのJAグリーン・グリーンショップまで

「ミヨウガは子どものころから好きです。ちよつと友人宅の庭先に生えていて、話題にしていたところなんです。食用となる部分が出てこないと言っていたので、記事を見ながら育て方について話してみます。(K・Kさん)

この度、7月末で退職することになりました。サン・サン料理教室に申し込もうと思っております。やつと平日のいろいろなるイベントに参加できるようにしたい、楽しみです。(U・Kさん)

いろいろなレシピでたまごまな野菜等を作っているのがよくわかりました。上意東のタケノコがとてもおいしかったです。また、ふるさと料理はとても参考になり、切抜きしました。(S・Hさん)

「健康散歩」腸活で食中毒予防ということではバランスのとれた食生活を心掛けて腸活をして免疫力を高め、食中毒に負けない健康づくりを心掛けたいと思います。(K・Mさん)

たくさんのご意見、ご要望をありがとうございました。いただいたおハガキの一部をご紹介しますことができます。



お便りコーナー

8月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料でお受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
8	木	税務相談会	法吉支店 (TEL: 21-3690) 10:00~12:00
9	金	税務相談会	中原店 (TEL: 21-2567) 10:00~12:00

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店・店

〇くにびき地区本部金融共済部ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※8月の土曜営業日は10日・24日です。

◆お問い合わせは

☎0120-988-380

8月 ふれあい訪問日

8月16日(金)・19日(月)

病害虫の予防を万全に ハクサイ

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

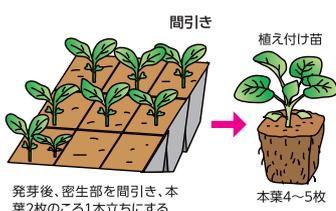
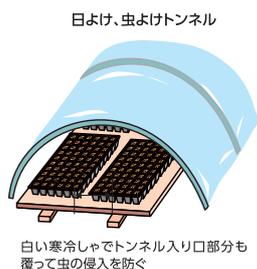
ハクサイの原産地は中国。日本に本格的に導入されたのは明治初年と意外にも新しい野菜です。生育適温は15～20度の冷涼な気候で、寒さに強い冬の代表野菜です。

8月中旬～9月上旬にまき、早生種で種まき後60～70日、中生種で80～100日で収穫できます。

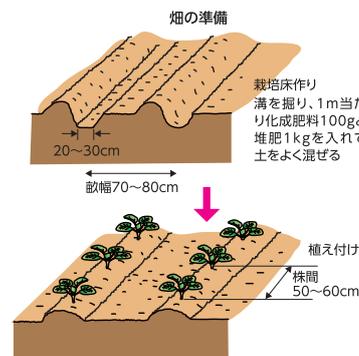
【品種】漬物、鍋物用には大型の品種が主流ですが、小型品種もあります。年内取りは、早生品種の「晴黄65」（タキイ種苗）など、中生品種では、黄芯系の「黄ごころ85」（タキイ種苗）、「黄将」（カネコ種苗）など、また、重さ600gくらいの「娃娃菜」（トキタ種苗）、「タイニーシュシュ」（サカタのタネ）などがあります。



【苗作り】連結ポットなどに4～5粒まき、途中、間引きをして1株にし、本葉4～5枚の苗に仕上げます。ネットでトンネル状に覆うなどして、虫の侵入を防ぎます。



【畑の準備】植え付け2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、土とよく混ぜておきます。1週間前までに畝幅70～80cm、深さ20cmの溝を掘り、溝1mにつき化成肥料（N-P-K=10-10-10%）100gと堆肥1kgを入れ、土とよく混ぜて畝を作ります。ウイルス病を媒介するアブラムシの飛来を防ぐには、白や銀色の反射性マルチフィルムを使うと効果的です。



【植え付け】植え穴は50～60cm間隔に掘り、畑が乾いていたら穴に水やりをしておきます。植え付けの深さは、子葉の下までの深さになるようにし、株元の土を手でしっかり押さえます。

【追肥】本葉10枚のころ畝の肩に化成肥料を1株10gくらいまいて、株元に土寄せします。2回目はその20日後に通路にまき土寄せします。

【病害虫の防除】ヨトウムシ、コナガ、アブラムシなどが多いので、オルトラン水和剤などで駆除します。病気の予防には、管理のときに葉を傷めないことですが、軟腐病では発病株を早めに除去し、広がりを防ぎます。

【収穫】結球の頭を押さえて、葉に緩みがなく、しっかりしたら収穫時期です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

理事会情報 (5月30日開催)

【協議事項】

- ① 令和元年度国庫及び県単補助事業の実施について
- ② 第2次農業戦略実践3ヵ年営農計画について
- ③ 平成30年産島根米買取価格の設定ならびに令和元年度産の買入れ手法について
- ④ 自動車販売・整備管理システム統一にかかる開発計画について
- ⑤ 余裕金運用規程の一部改正について
- ⑥ 内部統制システム基本方針の策定について
- ⑦ 島根県常例検査書の回答について
- ⑧ 総代会附議議案「会計監査人の選任について」および監査報酬額の決定について
- ⑨ 平成30年度決算の承認について
- ⑩ 第5回通常総代会への附議議案について
- ⑪ 財務調整に関する取扱いについて
- ⑫ 令和元年度の業績還元額の取扱いについて
- ⑬ 情報システム業務の電算センターへの委託について
- ⑭ 令和元年7月1日付け機構改革の実施について
- ⑮ 葬祭会館「メモリア平田」の改修工事について
- ⑯ 葬祭会館「J Aしまね三隅葬祭会館(仮称)」の建設工事について
- ⑰ 通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑱ 「正組員加入促進運動」の取り組み結果および今後の取り組みについて
- ⑲ 職制規程の一部改正について
- ⑳ くまびき地区本部「福祉事業」の廃止について
- ㉑ 懲戒委員会要項の一部改正について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

消費税率の引上げと軽減税率の影響

影響 ① 免税事業者の判定の影響 ② 簡易課税制度への影響

農畜産物を販売する際の適用税率

2019年10月1日より、消費税率が8%から10%に上昇します。これに合わせて **飲食物品(加工品・農畜産物を含む)** については **軽減税率(8%)** が適用されます。

軽減税率が適用される(8%)農畜産物

主食用米・野菜・果実・枝肉など、飲食用として販売されるもの

※JAから振り込まれる農畜産物の販売代金は、消費税率8%が適用されます。

軽減税率が適用されない(10%)農畜産物

飼料用米・種子・花卉類・素牛など、飲食用として販売されないもの

※JAから振り込まれる農畜産物の販売代金は、消費税率10%が適用されます。

委託販売手数料の経理の取扱い変更

軽減税率の導入により、農畜産物(税率8%)と委託販売手数料(税率10%)の適用税率が異なるため、**軽減税率が適用される** 農畜産物を販売した際の、**委託販売手数料** の経理の取扱いが変わります。

※軽減税率が適用されない農畜産物の販売に係る委託販売手数料の経理の取扱いは、変更ありません。

2019年9月30日までの取扱い(現行)

販売金額から委託販売手数料を控除した後の金額を課税売上とすることができます。

2019年10月1日以降の取扱い

販売金額から委託販売手数料を控除できません。**入金額でなくJAから送付された仕切書や販売代金精算書の販売金額を課税売上**にします。

免税事業者の方へ

(基準期間の課税売上高1,000万円以下)

納税義務の有無を判定する際、2019年10月1日以降は、課税売上高の計算上、委託販売手数料を控除できません。

基準期間(2年前)の課税売上高を判定する際に注意が必要です。

課税事業者で簡易課税制度を選択中の方へ

(基準期間の課税売上高5,000万円以下)

簡易課税制度の適用可否を判定する際、2019年10月1日以降は、課税売上高の計算上、委託販売手数料を控除できません。

基準期間(2年前)の課税売上高を判定する際に注意が必要です。



お問い合わせは 各地区本部の担当部署 または 税務署までお問い合わせ下さい。下記の専用ダイヤルでも相談が可能です。

国税庁

消費税軽減税率電話相談センター 専用 **0570-030-456**

農林水産省

農林水産省の相談窓口(消費税関係) 専用 **03-3501-1384**

農地中間管理機構を活用して 農地の貸し借りを してみませんか!!

農地を貸したい

- もう農業をやめたい
- 農地は持っておきたいけど耕作は続けられない
- 経営の規模を縮小したいなど...

農地を借りたい

- 農地を増やしたい
- 農地を借りて耕作したい
- 農地をまとめたいたいなど...

地域農業を将来にわたって守るため「農地中間管理事業」を活用しましょう。

公益財団法人しまね農業振興公社 理事長 岡田 一朗

事業のメリット

出し手 (農地の所有者)

- 賃借料は会社から確実に支払うので、安心して農地を預けることができます。
- 農地を借りた人が途中で耕作できなくなっても、関係機関と連携して新たな受け手を探します。

受け手 (農地を借りたい人)

- 会社との契約に基づくため、長期間、安心して耕作できます。
- 農地を集積・集約することで、まとまった農地を耕作でき、農作業の効率化、生産性の向上が図れます。
- 複数の所有者から農地を借りている場合でも、契約が一括化され、賃借料の支払い事務が軽減されます。
- 税務署へ提出する「不動産の使用料等の支払い調書」の作成等の事務が軽減されます。(15万円以上の賃借料)

お問い合わせ先 **公益財団法人しまね農業振興公社**
(島根県農地中間管理機構)
TEL: 0852-20-2871
e-mail: kousha@agri-shimane.jp URL: https://agri-shimane.or.jp

組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付ていただきますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

しまねうれしび

料理研究家 土井小百合

JALしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。
VEGETABLE OIL INK

とうもろこしごはん



●材料 (4人分)

米	2合	昆布	1枚 (5cm角)
とうもろこし	1本	酒	大さじ1
グリーンピース (あれば)	50g	水	2カップ
塩	小さじ2/3		

●作り方

- ①米を洗い30分置く。
- ②炊飯器に米、水、酒、塩、昆布を入れる。
- ③とうもろこしは包丁で芯に沿って実をそぎ取る。
- ④②の炊飯器の中に③のとうもろこし、とうもろこしの芯、グリーンピースを入れ炊く。
- ⑤炊き上がったらとうもろこしの芯、昆布を取り除き混ぜ合わせる。

★旬のとうもろこしを使ったご飯です。口の中でプチプチとした食感と甘味が広がります。芯も一緒に炊くと甘味が増し、味わいが深くなります。



簡単豚肉のサッパリ煮(焼き豚風)



●材料

豚肉固まり	400~500g	ソース	
白ネギ	1本	煮汁	大さじ3
生姜	4枚	マヨネーズ	大さじ3
にんにく	1かけ	からし	
めんつゆ	200cc	季節の野菜	適量
水	500cc		

●作り方

- ①白ネギを5cmに切る。にんにくをつぶす。生姜は薄切りにする。
- ②小鍋に豚肉とめんつゆ、水、にんにく、生姜、白ネギを入れ、落としフタをして火にかけて、煮立ったら弱火で30分煮る。(中に火が通るまで煮る)
- ③冷めるまで煮汁に浸しておく。
- ④豚肉を厚さ1cmぐらいに切る。
- ⑤煮汁、マヨネーズ、からしを混ぜソースを作る。
- ⑥豚肉、野菜にソースをかける。

★タコ糸で縛らなくても大丈夫です。
★これを作っておけばアレンジ色々！お弁当や忙しい夕食にも便利です♪柔らかくて美味しい！
★さっぱり食べたい時はモモ肉、豚バラを使えばトロトロ柔らかい出来上がりになります。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は出雲市佐田町の「八雲風穴」です。約500年前に開山したお寺「福泉坊」の隣にある八雲風穴には、夏になると涼を求め多くの人々が訪れます。真夏でも5~10度前後の冷風が出ており、年間を通じて気温の変動が少ないことから、昔から天然冷蔵庫として農林産物の保管などに利用されてきました。

編集後記

6月30日の第5回通常総代会にて、新年度事業計画や役員改選をはじめとした全議案が可決承認され、新たな体制がスタートしました。本来であれば本誌にて皆さまへ情報をお繋ぎすべきところですが、製作スケジュールの都合から8月号の特集誌面にてご紹介させていただきます。なお総代会情報は、先行して当JAのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。(和)



【今月の表紙の原画】
レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

JALしまね 公式ホームページ
https://ja-shimane.jp/

2019年7月17日発行 (月1回発行)
編集/JALしまね ふれあい福祉課・くにびき地区本部
発行/島根県農業協同組合 くにびき地区本部
〒690-0823 松江市西川津町1-635-1 TEL.0852-55-3000 FAX.0852-32-6970
メール: jw@jaf.or.jp community-affairs.kun@ja-shimane.or.jp